おくりん 平成21年10月 No.130

議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番

収穫のシーズン到来！ （９月２５日）

平成２１年第３回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正、人事案件など

一　般　質　問 …… 青坂賢二議員 ・ 制野征男議員

決算審査特別委員会の設置 …… 平成20年度奥尻町一般会計・特別会計の決算審査

各常任委員会の開会 …… 総務文教常任委員会・産業建設常任委員会

第3回定例町議会

一般質問

防災訓練の内容はこのままでいいのか

青坂　賢二　議員

質問　今年も奥尻町防災訓練が実施されましたが、訓練を見ていても毎年おこなっているのと同じ内容で、これで地震、津波、土砂災害に対応できるのか不安です。

一般の人の避難所への集まりもわるく、老人や障害者の人たちをどのように避難させるかを考えなければならないと感じます。

訓練だから良いのではなく、災害時の事を考えてもらうように、各団体、町内会とも話し合いをした方が良いと思うが、どのように考えているのかお聞きしたい。

広く意見を反映したきめ細かい対応を考える

新村　卓実　町長

答弁　防災会議の中でも訓練内容については議論されますが、老人や障害者も含めた避難体制などを反省点として、今後の防災訓練に活かし、精度の高いものにしていきたい。

また、防災会議委員は条例上決められていますが、オブザーバーとして町内会長などを指名し、広く意見を反映したきめ細かい対応を考えています。

民主党政権中心に対する首長としての適切な対応を

制野　征男　議員

質問　自公政権の幕がおり、民主党中心の政権が誕生しましたが、基礎的自治体としても、この事態に対する認識を新たにすべきです。新政権が掲げたマニフェストによる「国と地方のあり方を見直す」として「中央政権から地域主権へ」、「基礎的自治体に権限や財源を大幅に委譲する」、「ひもつき補助金」を廃止して「一括

交付金」として交付するなどとしていますが、町への影響と首長としての対応の認識を聞きたい。

構造改革の名で減額された交付税の復元を期待

新村　卓実　町長

答弁

管内の町村会、離島振興協議会を通じて新政権に対する22年度の要望を国に直接行う予定ですが、「地域主権」を掲げていることは承知しています。しかし、実質的なスタートをしていませんので、現段階として奥尻町としての対応は述べられませんが、今まで構造改革の名のもとで減額が続けられてきた「地方交付税」の復元などを含めて、町としての財政力が回復できることを期待しています。同時に、旧来永く続いていた地方が中央に陳情を行うということをしていましたが今後は、地方が主体的に新政権と協議する仕組みを構築することがベストだと考えています。

八雲町との経済交流を再開すべきでは

制野　征男　議員

質問

来年度からハートランドフェリー会社が経営難により一隻で運航することになり、今後の展望も人口の減少、経済交流の縮小、燃油の高騰、観光産業の伸び悩みなどフェリー会社の経営難の解消は容易ではありません。

こうした環境から、奥尻航路の将来を見通した場合熊石航路の運航一本に絞った方が適切ではないかと思います。メリットとして八雲町への新幹線の停車、八熊線の改良があり、奥尻島民にとっても運賃の安さ、短時間の運航などが挙げられますので、その方向に向かうためにも八雲町との経済交流を再開すべきではないでしょうか。

関係者との会談の機会に話題として提供したい

新村　卓実　町長

答弁

8月にハートランドフェリーから奥尻航路の2隻のフェリーを1隻に減船してそれに伴うダイヤの再編を行いたいと申し出がありました。私としても町民の生活に直結する問題であり現運航体制を強く要望しましたが、その後は関係機関と協議し町民の利便を最優先としてのダイヤの検討を重ねています。

熊石航路については、フェリー会社や八雲町の考え方もあるとは思いますが、短時間の渡航は全ての町民や私自身の願いでもあり、方向性が一致しています。経済交流も含め、今後は八雲町の首長や関係者との会談の機会に話題として提供したいと思っています。

海岸漂流物処理推進法の活用は

制野　征男　議員

質問

海岸線を有する奥尻町では廃プラスチック、ハッポー、ポリ容器、漁網などが海岸に漂着し、その回収、処理について費用もかかり大きな課題です。

先の通常国会で、海岸漂着実態から「海岸漂着物処理推進法」が公布・施行され、その特徴は国の財政負担を定めたことにあります。この法律は3年間なので、速やかに海岸への漂着物の回収、処理などの計画を練り上げ、制度の活用をはかるべきです。

また、奥尻島の海岸における漂着物はどのような処理がされていたのか伺います。

財政的にも有益であるならば積極的に希望する

新村　卓実　町長

答弁　基本的には事業主体である北海道の指示で作業を進めたいと思いますが、財政的にも本町に有益であるならば積極的に希望していきたい。

また、海岸や漁港などは毎年「クリーンアップ作戦」「小・中・高の海浜清掃」、「ＰＴＡや町内会清掃」などで処理していますが、特別な漂流物については支庁や道警と協議をしています。

生活困窮者への病院での医療費減免制度の前進への措置急げ

制野　征男　議員

質問　生活困窮者への病院窓口における3割負担に対して減免制度の活用を促す政府からの「通知」が7月に提示されています。6月議会でも従来から町での規定にある減免制度、国保法44条の精神から、早期に収入基準を定めて適用が急がれるのではないですか。

「通知」から一部負担金の減免・徴収猶予の規定推進必要と認識

新村　卓実　町長

答弁　政府からの「通知」は、医療機関における「未収金」は「生活困窮者」と「悪質滞納者」が主な要因と指摘されていることから、一部負担金減免などの適切な運用を求めたものと理解しています。奥尻町における未収金3百70万余りについては病院と保険福祉との連絡体制の強化と一部負担金の減免・徴収猶予規定の制定を推進しなければならないと認識しています。

生活困窮の認定は地域の特殊事情など生活実態に即した上で負担の公平を図るためにも、慎重かつ適正に判断しなければならないことから、新年度からの適用に向けて3月までに提示したい。

乗用車割引制度の導入における今後の課題と教訓を問う

制野　征男　議員

質問　往復2千円という乗用車の割引制度は全国的に大きな反響を呼びましたが、実施直前になって、宿泊施設がお盆明けから、土日をはずしての実施を求める署名を町に提出するなどされた施策でした。乗用車の割引が大きな反響を招いたことの現われでしたが、多くの教訓も学んだ施策でもあったことから、今後の乗用車の割引のあり方の課題と教訓における町長の見解を求めたい。

予想以上の反響であり、観光客の誘致図られた

新村　卓実　町長

答弁　来島する個人観光客の落

ち込みから乗用車の割引を実施したもので、予想以上の反響があり、予約の殺到により短期間で予約を終了する事態になったことから一定の観光客の誘致対策がはかられたものと考えています。

一部の観光業者からお叱りを受けたこともありましたが、一部の宿泊業者から国、道の関係機関からはおほめの言葉があったことは事実です。

道からの交付金の決定や町の補正予算のために計画から実施までの準備期間が短く細かいところまで協議できなかったという反省点があります。

乗用車の割引については厳しい財政面、また同事業に対する観光協会、住民の声を聞きながら、バスのキャンペーン事業を含め、今後の観光対策を考えていきたい。

平成21年第3回定例町議会は、9月15日に招集され、平成21年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、奥尻町保育所条例の一部を改正する条例等を審議し、いずれも可決され、15日に閉会しました。

なお、平成20年度各会計歳入歳出決算は、決算審査特別委員会に付託しました。

報告

▽平成20年度健全化比率の報告について……報告

実質公債費比率は20.4％であり、19年度と比較すると△3.1％改善され、また早期健全化基準の25％を下回っており、良好な状態であると認められる。また、将来負担比率についても146.6％で、19年度と比較すると△24.4％改善され、早期健全化基準の350％と比較すると下回っているので、良好な状態にあると認められるとの報告がありました。

▽平成20年度資金不足比率の報告について…報告

国民健康保険病院事業会計及び簡易水道事業特別会計、港湾施設用地造成事業特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計について、それぞれ資金不足比率が発生しなかったので、現在のところ経営は良好であると認められるとの報告がありました。

補正予算

▽平成21年度一般会計補正予算（第5号）…原案可決

歳入歳出に2億8千2百86万円を追加し、予算総額を、36億9千4百3千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

地方特例交付金
93万3千円
国庫支出金
2億4千3百1万7千円
道支出金
1千9百40万8千円
繰入金
△1千2百7千円
繰越金
1千4百47万1千円
諸収入
△3万2千円
町債
1千7百7万円

〔歳出〕

総務費
2億4千7百82万8千円
民生費
2百28万5千円
衛生費
4百31万1千円
労働費
3百19万5千円
農林水産業費
1千5百93万8千円
土木費
1百1千円
教育費
75万9千円
公債費
△92万8千円
諸支出金
8百43万9千円

□平成21度奥尻町自動車整備工場事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

臨時職員賃金93万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、9千6百54万6千円としました。

□平成21度奥尻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）…原案可決

後期高齢者支援金5百33万9千円などを追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、4億8千1百56万4千円としました。

□平成21年度奥尻町老人保健医療事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

一般会計繰出金1百88万3千円などを追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ

3百32万8千円としました。

□平成21年度奥尻町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）……原案可決

償還金3百61万4千円などを追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、2億2千2百43万7千円としました。

□平成21年度奥尻町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第1号）……原案可決

委託料10万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、1千5百55万6千円としました。

□平成21年度奥尻町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）……原案可決

修繕料44万1千円などを追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、8千7百19万3千円としました。

□平成21年度奥尻港港湾施設用地造成事業特別会計補正予算（第1号）…原案可決

修繕料25万9千円などを追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、2千9百57万4千円としました。

□平成21年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）……原案可決

医師住宅修繕費として、2百万円を追加し、予算の総額を7億5千8百17万4千円としました。

その他

○北海道市町村総合事務組合の規約の変更について……原案可決

北海道市町村総合事務組合の組織団体である湧別町と上湧別町が合併及び両湧別町学校給食組合が解散脱退することに伴う規約の変更について、地方自治法第286条第1項の規定により、規約を変更することを決定しました。

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について……原案可決

北海道市町村退職手当組合の組織団体である湧別町と上湧別町が合併及び両湧別町学校給食組合が解散脱退することに伴う規約の変更について、地方自治法第286条第1項の規定により、規約を変更することを決定しました。

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について……原案可決

北海道町村議会議員公務災害補償等組合の組織団体である湧別町と上湧別町が合併及び両湧別町学校給食組合が解散脱退することに伴う規約の変更について、地方自治法第286条第1項の規定により、規約を変更することを決定しました。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について……原案可決

6月定例会において策定された計画に、電気通信施設（地域情報通信基盤整備事業）を追加し、整備計画の変更を行いました。

人事

◇奥尻町固定資産評価審査委員会委員の選任について……同意

次の方が議会の同意を得て、再任されました。

奥尻町字奥尻456番地1

福本照治氏

任期　平成21年10月1日～平成24年9月30日

◇奥尻町教育委員会委員の任命について……同意

次の方が議会の同意を得て、再任されました。

奥尻町字奥尻455番地1

館達雄氏

任期　平成21年10月1日～平成25年9月30日

条例

○奥尻町保育所条例の一部を改正する条例……原案可決

他の市町村へ広域入所する児童のため、本条例の一部を改正しました

○奥尻町国民健康保険条例の一部を改正する条例……原案可決

健康保険法施行令等の一部を改正する政令（平成21年度政令第139号）の公布に

伴い、出産育児一時金の金額を暫定的に引き上げるため、本条例の一部を改正しました。

決算は付託に

平成20年度奥尻町一般会計・各特別会計決算の認定については議長及び監査委員を除く8名の議員で構成する《決算審査特別委員会》を設置し、閉会中の継続審査となりました。なお、委員長には紀伊国俊美議員、副委員長には青坂賢二議員が選出されました。

意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎北海道の広域性・自然条件を考慮したへき地級地見直し・運用を求める意見書

◎地域医療確保と自治体病院充実のための予算の大幅増額等を求める意見書

◎現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

◎道路の整備に関する意見書

議会運営委員会

9月9日に議会運営委員会が開かれました。

15日に開催される9月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については1日とし、各団体から要請されていた意見書については4意見書を、同委員による共同提案とすること等を決めました。

総務文教常任委員会

9月4日開会された同委員会の概要についてお知らせします。

【教育委員会関係】

各学校校舎（青小除く）、体育館の耐震構造診断の落札業者が函館市の㈱北匠建設設計事務所が、契約金額1千3百44万円で落札し、工期は、平成22年2月26日までということで報告がありました。

【国保病院関係】

病院の収支の状況、患者の入院・外来の状況、医師問題の現況などについて説明がありました。

【地域政策課関係】

所管事務調査である、町財政と行政改革において、平成20年度の財政健全化比率の数値について、実質公債比率が平成19年度と比較して3.1ポイント改善し、20.4%になったことや、将来負担比率も24.4ポイント改善し、146.6%になったと報告がありました。

次に、商工・観光振興の調査の中で、今年度7月までの観光客の入込数について説明があり、前年と比較して1千8百85人の減であると報告がありました。

次に、パークゴルフ場について、建設予定地は北追岬公園内であるが、道立自然公園の特別区域に指定されているところから、開発面積も2千平方メートル以内ということで制限されており、その制限内で18ホールを建設する予定であるとの説明がありました。

【住民課関係】

住民課から平成20年度（5月29日現在）の町民税固定資産税、国保税などの収納実態について報告がされました。

続いて、嘱託徴収員検討ということで、徴収員をおいた場合の金額の措置についての説明がされました。

最後に、9月定例会に上程予定の奥尻町保育所条例の一部を改正する条例について、他の市町村へ広域入所する児童のために条例を改正する必要があり、更に、条例改正にあわせ規則を改正する必要があると説明がされました。

産業建設常任委員会

9月10日に招集された産業建設常任委員会では、水稲の生育状況について、農業委員会長谷川博会長随行のもと、富里の水田2ヶ所（保坂孝志さん、小林幹一さん）、米岡1ヶ所（上田正登さん）の現場視察を行いました。

水稲は収穫前とあっていずれも黄金色に輝いており生育の順調さを窺わせました。ただ、種類によっては、若干青さが残るものもありました。

行政視察後、議会事務局において意見交換会を行いました。また、町側から9月定例町議会に向けて議案等の補足説明がありました。

視察来町者状況

「南西沖地震災害の復興状況」や「当町企業の運営状況」等の視察に各方面から今年に入って9団体71人の来町がありました。

3月
岩手県宮古市議会　2人

5月
三重県津市議会　3人
高知県香南市議会　8人

6月
福島県議会(自民党)　13人

7月
福島県喜多方市議会　7人
高知県四万十市議会　9人

8月
香川県高松市議会　5人

9月
神奈川県議会　13人

10月
神奈川県藤沢市議会　11人

自民党福島県議会議員会　地震災害説明会状況
（6月10日　役場2階会議室にて）

議会広報委員研修会

○8月18日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市、北海道第2水産ビルで開催され、全道から94町村、400人の委員と関係者が参集しました。当町からは広報編集委員3人と事務局1名が出席しました。

○広報プランナー和田雅之氏が講師となり、『ビジュアル化が進む中での議会報づくり』と題し、議会報づくりの基本から応用編まで詳細にわたり講義がされました。その中で、理想的な議会報とは、自宅に居ながらにして議会を見ているような紙面づくりであることだと言われ、そのためには文章の基本を忘れず、かつ最新の傾向も取り入れることが有効であるとの説明がされました。最後に質疑応答の場面では、活発に質問が出され、真摯に議会報づくりに邁進しようとする各議員の熱意が伝わってきました。

青苗中学3年生十人 商工女性部十五人 第3回定例会傍聴

9月15日開会の第3回定例町議会に、青苗中学校から3年生9名、引率の教員1名の合計10名の傍聴者がありました。青苗中学3年生は、社会科公民分野の授業の一環として、議会開会

時間の午前10時から午前11時までの1時間、議会を傍聴していきました。

青苗中学校３年生９人と教員１名

そのときの感想文を生徒から寄せられましたので代表して男女一人ずつ計二人の感想文を掲載します。本当は全員の文章を載せたかったのですが、紙面の都合上、男女1名ずつしか掲載できませんでしたのでご了承下さい。

☆議会見学を終えて

3年　S君

僕は初めて見る議会の空気にビックリしました。一時間ほどしか見学できませんでしたが、一般質問を見ることができたのでとてもうれしかったです。特に制野議員さんの質問です。とても内容が濃くて、最後の質問は難しくてわからない所がありましたが、とても白熱していてすごいなと思いました。

僕が、印象に残るのは、フェリーの運航のことです。理由は、島民は、誰でも使うと思います。なので、どんどん活性化していってほしいと思ったからです。僕の考えは、フェリー運航は、一隻のみでいいと思います。なぜなら二隻もの運航にするとトータルで1億ほどの赤字に年々なっているからです。そして、江差運航を無くし、瀬棚運航のみがよいと思います。これなら赤字は減ると思います。特にガソリンがとても金がかかるので、一隻で良いと思います。

僕は、公務員になりたいので、これからたくさん勉強し役場の職員または議員にできればなれるようにがんばります。

☆議会見学をして思ったこと

3年　Mさん

今回議会見学をして、身近で起きている奥尻のさまざまな問題などを知りました。今までは全然奥尻島の問題を知らなく、何も変わらない生活をしていました。でもこの機会で産業の状況、観光についてなど本当に身近な課題を知りました。

私はその中でも防災訓練について考えました。私は学校で防災訓練をしていて町民がその時、どのように動いているか知りませんでした。でも青坂議員が言っていた、家の前で草をとっている人がいたという言葉を聞いた時、いざとなった時その人は大丈夫なのか不安に思いました。なので、私はもっと呼びかけたり、関心を持ってもらうために、その日に分かりやすい防災のパンフレットなどを配布したらいいと思いました。そうすれば家から出られない人でも防災の知識を学べると思います。

私は今回の見学で奥尻島の問題について、色々なことを考えさせられました。なのでこれからも、奥尻島の問題について知り、自分ができることはどんどんしていきたいです。

【商工会女性部15人傍聴】

９月15日開会の第３回町議会定例会には、奥尻商工会女性部の方々も傍聴に訪れ、議員と町長との一般質問のやり取りや、補正予算に対する関連質問の状況などをつぶさに見学をしていきました。

実際の議場において臨場感ある議論の様子を聴いて、気持ちを新たにしているようでした。

商工会女性部１５人

議会のうごき

7 月

5～ 6日　第５８回檜山管内消防総合訓練大会（乙部町）議長出席
9日　全員協議会開会
16日　議会運営委員会開会
16日　第７回町議会臨時会開会

8 月

1～ 2日　医師対策用務（札幌市）議長出席
17～19日　北海道町村議会議長会主催議会広報研修会（札幌市）議員３名出席
26～28日　檜山支庁管内町村議会議長会臨時総会・渡島檜山町村議会議長連絡会議（厚沢部町）議長出席

9 月

4日　総務文教常任委員会開会
9日　議会運営委員会開会
10日　産業建設常任委員会開会
15日　第３回町議会定例会開会
24日　広報編集特別委員会開会

編集を終えて

７月にＪＩＡＭという研修団体の主催による市町村議会議員海外派遣研修に参加し、アメリカの議員活動や制度を勉強してきました。

もともと米国の議会制度に興味があり、今回は日本の制度に似ているサンフランシスコ、シティマネージャー制のオレゴン州ベントという小さな街、コミッショナー制のポートランドの３都市で、琵琶湖での国内研修も含め12日間の日程でした。

一応レポートも作成したのですが、量が多いため議会だよりには掲載できませんでしたが、印象的だったのは、日本の議会や地方自治体の制度は、奥尻のような小さな町でも東京の何十万という人口がいる区でも同じシステムなのですが、米国は100の町があれば100通りの制度があるそうです。

それだけ自由に制度を選んだり創ったりすることができるということです。

今回の研修では米国の市長や議員、また多くのＮＰＯの方々と対談したのですが、その経験をこれからの議員活動に活かしていきたいと思っています。

広報編集特別委員会（Ｎ）